

本書に掲載された証券アナリスト試験の試験問題および優良解答例は、社団法人日本証券アナリスト協会®の許諾を得て転載されたものであり、無断転載を禁じる。

は し が き

2次試験の合格のコツは、出題者（問題）の意図を正しく理解し、その「本質」を記述することにあります。「本質」の内容が正しく記述されていれば、協会参考資料の「解答例」と異なっても十分正答として採点されます。また、計算問題にしても計算結果だけが採点されるわけではなく、計算式・計算過程なども採点の対象となることがあります（協会の解答例より抜粋）。「本質」さえ理解していれば、計算式を書くことは簡単です。

拙書は「本質」を理解することができるように、各分野（ファイナンスのためのミクロ経済学、実体経済の諸問題、金融経済の諸問題及び国際経済の諸問題）に過去問を分類し、「本質」が理解できるように、直近の2～3年分の問題だけでなく、過去7回分（平成16年から平成21年試験まで、平成19年のみ春・秋の2回あり）の問題を取り上げております。

6年分の過去問を取り上げることにより、重複している問題（重要度が高い問題）が分かるとともに、各テーマの問題の本質が理解できます。つまり、問題の出題形式が違っていても、問われている本質は同じです。その重要テーマが繰り返して出題されており、異なる出題形式であっても記述されている（解答）は、ほぼ同様の内容となっております。

拙書は以上の意図をもって6年分（全7回分）の過去問を取り上げております。受験生におかれましては、最初は問題を見ても全く何を記述すれば良いか判らないと思います。そのため問題を読み、直ぐに、解答及び解説を読み、「本質」は何であるのかを理解することに努めて下さい。次に、また、問題を読み、自分で本質の答案を書くトレーニングを繰り返して下さい。実際の試験は7時間答案を書き続けなければならない、書くトレーニングをしないと本試験では何を書いていいのか悩み、あっという間に7時間が終了します。拙書（解答）を見ながらでも構いませんが、本質を書くトレーニングをすれば必ず合格します。

最後に、皆様の合格を心よりお祈り申し上げます。

2010年2月

朝日奈 利頼